

3 発表

最後にグループごとで出た意見を発表してもらい、参加者全員で庄原市の将来像や実現に向けた取組みについて共有しました。

<将来像>

学生が楽しめる場所がある

<取組み・プロジェクト>

地域の人との交流を増やすために、授業で関われるような取り組み。

<将来像>

大学生・高校生が庄原市の中で集まれるように

<取組み・プロジェクト>

空き家改修プロジェクトで大学生や高校生が集まれるような空間を、地域の人たちとつくる取り組みをする。学生たちが集まりやすいよう、道路の整備をする。

<将来像>

事業後継者の全国募集・職種を増やす

<取組み・プロジェクト>

アンケートやハローワークでの調査や承継のための補助制度を構築する。

<将来像>

住み続けられるまち

<取組み・プロジェクト>

コンビニに野菜を置いてほしい。余った野菜などはサブスクを活用して売る！

<将来像>

自然とともに無理なく生きるまち

<取組み・プロジェクト>

庄原の生き方、自由に働くことを前面に出して、良さを伝えたい。市長とのクロストークや話題性を出したり、何でもシェアできる庄原市の人の良さを伝えたりする。

<将来像>

自動運転でいつでもどこでも安く移動できるまち

<取組み・プロジェクト>

自動運転試行プロジェクトで、専用の道路をつくる。会社の誘致をしていきたい。

次回 第3回 市民ワークショップ

テーマ：協同のまちづくりに向けた取り組みを考えよう！

日時：6月7日（土） 13時30分～（2時間）

第2回 市民ワークショップ ニュース

令和7年5月

No.2

庄原市 企画振興部 企画課

TEL:0824-73-1128

FAX:0824-72-3322



第3期庄原市長期総合計画の策定に向け、第2回 市民ワークショップを開催しました！

令和8年度より施行される、第3期庄原市長期総合計画の策定に向け、第2回市民ワークショップを開催しました。第1回目は「将来のまちの姿を考えよう！」をテーマに今あるまちの魅力や課題について話し合ってもらいました。長期総合計画は、今後10年間の庄原市の将来像を描く計画であるとともに、多様な世代・立場でまちの目指す姿を共有し協力していくために必要な計画です。

第2回目は、4月27日（日）に開催しました。市民・学生・市役所職員の計38名が参加し、「理想の庄原市を実現するための取り組みを考えよう！」をテーマにまちの将来像や将来像を実現するための取り組みを検討していただき、様々な思いや考えを対話いただきました。

ワークショップの予定

第1回	将来のまちの姿を考えよう！ 今あるまちの魅力/まちの課題/ 10年後に庄原市が目指すべき姿
第2回	理想の庄原市を実現するための取り組みを考えよう！ 将来のまちの姿の実現に向けて、取り組むべきこと /取組みテーマ別にプロジェクトを検討
第3回	協働のまちづくりに向けた取り組みを考えよう！ 地域でできることや市民と行政が協働で実施するプロジェクトを検討・整理

《当日のプログラム》

- ① あいさつ
- ② 情報提供
- ③ ワークショップ(ワーク1)
「庄原市の理想のまちの姿を考えよう」
- ④ ワークショップ(ワーク2)
「将来像を実現する取り組みを考えよう」
- ⑤ 発表

庄原市の将来像や実現に向けたプロジェクトの検討をテーマごとに、グループで対話しました！！

1 当日のワークショップの流れ

当日は、将来像についてアンケート調査や前回のワークショップの結果を共有し、庄原市の理想の姿や実現するための取組みをテーマごとに考えました。最後に、すべてのグループから、話した内容を発表していただきました。



2 庄原市の将来像・実現するための取組みの検討

ワーク1では、庄原市の将来像についてグループで対話しました。テーマとしては「交通・インフラ」や「娯楽・にぎわい」「仕事・産業」などが挙げられ、各グループで考えた将来像を全員で共有しました。

ワーク2では、興味のあるテーマ・将来像のグループに移動してもらい、将来像を実現するための取組みについて話しました。「今まずすべきこと」では“ニーズ調査”“意見を聞く”、「将来的にすべきこと」では“後継者の確保”“道路や公共交通の整備”、「継続してすべきこと」では“支援や補助”“情報発信”などが挙がりました。



＜将来像＞

テーマ	将来像
人口・移住定住	住み続けられるまち
交通・インフラ	自動運転でいつでもどこでも安く移動できるまち
	誰でも自分の行きたい所へ気軽に行けるまち
娯楽・にぎわい	大学生・高校生が庄原市の中で集まれるように
	学生が楽しめる場所がある
仕事・産業	自然とともに無理なく生きるまち
	事業後継者(農業含)の全国募集・職種を増やす
生活環境	市民が自ら考え行動でき子どもを中心に安心して暮らせるまち

＜将来像を実現に向けた取組み＞

今まずすべきこと	将来的にすべきこと	継続してすべきこと
◆ 公共交通の充実 ◆ 子育てしやすい環境 ◆ 食料品を夕方に買いたい ◆ 働く場所 ◆ 困ったときに相談できる場所の確保	◆ 地域連携	◆ 医療・福祉の連携 ◆ Iターン・Uターンの支援
◆ 自動運転の試用区間 ◆ 自動運転研究会 ◆ 世代ごとのニーズ調査 ◆ 運賃を安く ◆ ライドシェアの仕掛けづくり ◆ 近隣の市町村参考	◆ 自動運転会社の投資 ◆ 自動運転車を誘致 ◆ 主要幹線の整備 ◆ 専用道路を作る ◆ 効果的な地区等の仮設し検証する	◆ 道路の整備 ◆ 自力でバスに乗れる健康な人を増やす ◆ ニーズ調査
◆ 歩道・自転車道の整備 ◆ バス停の見直し ◆ 夜間タクシーの復活 ◆ 芸備線の存続 ◆ レンタル自転車 ◆ 二次交通の見直し	◆ スマホで予約できる公共交通 ◆ 市内定額バス ◆ 自動運転のバス等の導入 ◆ バリアフリー車 ◆ 白タク、乗り合わせ交通手段などの実現	◆ 公共交通利用者へ補助 ◆ 免許返納補助金 ◆ 地域タクシーこまわりくん ◆ タクシー会社存続 ◆ 交通会社の人手不足解消策 ◆ タクシー券
◆ 夜でも安心(明るい、歩きやすい) ◆ 学生にアンケート ◆ 空き家活用 ◆ 歩道・道路の整備 ◆ 電灯の設置	◆ チェーン店を作る ◆ 商店街の活性化 ◆ 学習時間の中で大学生と高校生のコラボ ◆ 移動手段の拡充、時間の延長	◆ 集まれる場所の整備 ◆ 学校の維持 ◆ 経営・経済を回すために研修やプロフェッショナルの招聘 ◆ 祭りの開催
◆ 学生と地域の交流 ◆ 大学生・高校生の通学補助 ◆ 学生のニーズを知る ◆ 需要の調査 ◆ 今ある施設の宣伝	◆ 安く、長時間滞在できる施設 ◆ 財源の確保 ◆ 大学生、高校生以外のニーズ ◆ 施設を建てるために空き地をなくす	◆ 大学生・高校生のための月一回のライブイベント ◆ 情報発信
◆ 庄原版ライフプランの作成 ◆ 農地の確保 ◆ 自然の恵みで暮らす人々、知恵の共有 ◆ 地域住民の助け合い ◆ 新たな事業者の募集	◆ 庄原市内でサイクルする仕事 ◆ 空き家、廃校活用 ◆ 後継者の確保 ◆ 若者に向けて田舎のライフプランの検討	◆ 高齢者の支援 ◆ 祭りを残したい ◆ 山、田を荒らさず管理していく ◆ 専従の農業者の支援
◆ 労働環境の見直し ◆ 後継者の調査 ◆ 後継者が必要な事業所、農家のリストアップ ◆ 「わしの代で終わりでいい」の説得	◆ 新規就業者への支援 ◆ 後継者募集サイト、キャンペーン ◆ 承継先の引継ぎ、補助制度	◆ 農業の良さ PR、ブランド化(収入増を目指す) ◆ ブランド米の推進 ◆ 庄原市の良さ、定住を兼ねて PR
◆ 議員との座談会で子供の意見を拾う ◆ アイデア箱をつくる ◆ 神事等地域行事の存続	◆ 市民が集まる場所 ◆ 子供服、駄菓子屋 ◆ 子供たちだけで遊べる場所 ◆ 何かを無料にする(給食費など)	◆ な・み・かのポイント贈呈

